

KOMEITO
公明党

埼玉県議会議員

ごんもり幸男

http://www.gonmori.com No.29

県議会
ニュース

yukio.gonmori



@gonmori_yukio



@iet4350q



gonmori.yukio/

公式
ホームページ
こちら

県政相談はお気軽に TEL・FAX048-738-2364 E-mail:yukio@gonmori.com



①災害に強い街 春日部を作る！

◇耐震化など防災・ 減災対策の推進！

築71年の新川橋や、築64年の宝珠花橋など県管理の橋の架け替えや修繕、水道の送水管、下水道管やマンホールの耐震化を着実に推進します。

◇避難所となる県立学校 体育館にエアコン設置

県内で災害時に避難所となる県立学校の防災拠点校や春日部市内の県立学校6校にエアコン設置を推進します。

④デジタル技術の 活用で人に やさしい街づくり！

ICT（情報通信技術）活用で、子どもたち一人ひとりの状況やニーズに応じた教育支援、また、行政サービスのオンライン化の推進や高齢者へのデジタル活用支援など、デジタル技術の活用で一人ひとりに寄り添うことのできる、やさしい街づくりを推進します。また、無料Wi-Fiスポットの拡充や品質の向上も推進します。



②春日部に新たな 賑わいの場を！

春日部に河川を活かした新たな賑わいの場をつくるべく、「Next川の再生『水辺deベンチャーチャレンジ』」を推進します。



ごんもり幸男の 6つの 挑戦！

⑤安心して子どもを 産み育てられる街に！

国と連携し、0～2歳児の幼児保育の無償化の対象拡大などを推進し、子育てしやすい、子どもたちの笑顔あふれる春日部を目指します。



③春日部駅の高架化と 東埼玉道路の延伸で 春日部に活力を！

春日部駅の高架化とともに西口駅前の再開発と東埼玉道路（一般道）の延伸化で、地域経済発展と企業誘致による雇用拡大で埼玉をけん引する活力を春日部に生み出します。

⑥誰もが支え合う 街を目指して 福祉の充実！

◇「プラチナ・サポート・ ショップ」の拡大！

都道府県レベルでは全国初となるシニア世代の暮らしを支える「プラチナ・サポート・ショップ」を創設しました。今後、協賛店舗をさらに拡大し、いつまでも豊かな暮らしがおくれる春日部にしていきます。

◇「チームオレンジ」の 創設や運営をあと押し！

認知症センターと認知症の方やその家族をつなぐ支援の輪「チームオレンジ」の立ち上げや運営を推進します。



Saitama KOMEI チャンネル

埼玉公明党の動画配信チャンネル 動画で配信。埼玉県議会公明党議員などの取り組みをお届けします。ぜひともご覧ください。

埼玉県議会公明党議員団
春日部市 ごんもり 3:30

**市民相談
8,000件!**

あふれる情熱と行動で春日部の未来をひらく! ごんもり幸男の確かな実績!!

<防災・減災>

① 県内河川の水害リスクを大きく軽減

ゲリラ豪雨や長雨による河川増水を抑制するため川底の堆積土砂や樹木撤去を推進し、25mプール900杯分の流量を確保。これにより水害リスクを大きく軽減しました。今後も更に推進して参ります。

② 県独自の被災者安心支援制度創設

国の制度では適用条件があり、支援の対象とならなかった被災者を救済する、県と市町村の共同による被災者安心支援制度（生活再建支援金最大300万円給付）の創設に尽力しました。

③ 車中泊避難対策を推進（弹性ストッキング）

地震などによる車中泊避難者が窮屈な姿勢により出来た血栓が肺の血管に詰まるエコノミー症候群予防策として、医療用の「弹性ストッキング」を県内防災倉庫に備蓄推進。今後も備蓄を増やします。

<街づくり>

④ 開かずの踏切解消へ前進（春日部駅高架化）

ごんもりが公明党のネットワーク力を活かし市・県・国をつなぎ、春日部駅高架化の国の事業認可取得や県の事業着手を力強くあと押ししました。事業推進に必要な用地取得は順調に進み、東口仮駅舎が2月4日（土）の始発から利用開始。北千住方面の仮線路工事も既にスタートしています。

⑤ 東埼玉道路の延伸を後押し！

八潮市から春日部市をつなぐ東埼玉道路では、現在、一般道で松伏町や春日部市の用地取得や工事を進める段階にまで推進してきました。今後も国と連携し、更なる延伸を力強くあと押しし、一日でも早く東埼玉道路が春日部に開通するよう尽力します！



(提供：春日部市)

<安全・安心>

<地元市議団と連携> 春日部市内全域で街路灯と信号機の

⑥ LED化を実現

ごんもりと地元市議団が連携し、市内の街路灯や信号機のLED化を実現しました。街路灯は13,373基（2016年11月時点）全てLED照明に切り替えが完了し、導入後、4年間でおよそ1億9,200万円（諸経費は別途）の電気料金の節約となりました。信号機のLED化も順次、進めています。

歩行者の安全を守る「止まってくれてありがとう」の設置を推進

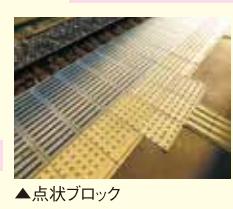
車両の横断歩道停止率が低い埼玉県の状況を改善するため、感謝型電柱幕「止まってくれてありがとう」の設置推進をいち早く県に提唱。埼玉県の車両の停止率は、全国40位から、現在は27位まで向上しました。（2022年8月時点）



▲2020年9月定例会

⑧ 駅ホームの転落防止対策を推進

駅ホームからの転落を防止するため県内24駅に「ホームドア」を設置。156駅にホーム内側をつえで判別できる「点状ブロック」を設置することができました。対象となる利用者数1万人以上の駅の転落防止設備の整備率は100%です。（2021年度末時点）



▲点状ブロック

▲ホームドア

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

KOMEITO
公明党
県議会控室

TEL 048-822-9606 FAX 048-822-9408

〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚250-337

埼玉県議会議員 **ごんもり幸男**

TEL·FAX 048-738-2364

<教 育>

⑨ 県内私立高校授業料の実質無償化を拡充

県内私立高校授業料の実質無償化対象を2020年度から世帯収入720万円未満に拡充。県内私立高校に通う生徒数のおよそ5割に当たる24,158人（2021年度）が実質無償化になりました。

今後も更なる拡充に尽力します。

⑩ LINEを活用した相談窓口の創設

子どもたちが抱える悩みなどを気軽に相談できるよう、県内すべての中高生（さいたま市除く）を対象にLINEを活用した相談窓口の設置を2020年度に実現しました。相談件数は2年間で2,000件。様々な悩み等の早期発見につながり、問題の深刻化を未然に防ぐことに大きく貢献しました。



⑪ 公立高校入試 急病者の救済措置として「追試験」を導入

埼玉県内の公立高校入試で、インフルエンザなどの急病にかかる受験生への救済措置として「追試験」を受けられるようにしました。2017年に県議会で訴え、2019年春からスタート。

これがコロナ禍でも大きな安心を広げ、この4年間で約350人の受験機会を確保しました。

<医 療>

不育症の検査費助成制度の創設と不妊治療・

⑫ 不育症に関する県相談窓口の充実

県独自に先進医療以外の不育症検査費用に対して夫婦につき最大2万円の助成を実現しました。

また、不妊・不育症の治療を行っても、流産、死産等により子どもを持つことができなかつた方の精神的負担を軽減できるよう、オンライン相談できるピアサポートセンター「ふわり」の設置をあと押しするなど相談機能を強化しました。



⑬ 救急電話相談を拡充

小児救急電話相談#8000と大人用救急電話相談#7000を統合し、24時間365日利用できる救急電話相談#7119を創設。急病やけがの際に、自宅での対処法や医療機関への受診の必要有無などについて看護師が電話で相談に応じます。2021年度の相談件数は20万560件。

<福 祉>

⑭ パパ・ママ応援ショップカードを拡充

子育て世代を応援する「パパ・ママカード」の対象を妊娠中から高校生の子どもを持つご家庭まで拡充。紙またはスマートアプリ版の優待カードを提示して割引などのサービスを受けられる協賛店舗数は23,710店（2022年11月末時点）。現在も増加中です。



⑮ フレイル予防（健康長寿延伸）の推進

春日部市の健康寿命は県の平均を下回っています。全ての人が、いきいきと前向きに暮らし続けていくために、フレイル予防は重要です。ごんもりは、フレイル予防の普及のため「健康長寿サポーター（健康づくりの知識を身に付け実践し、周囲へ広める方）」の養成を推進してきました。現在のサポーター数は県内で10万人を超えました。（2022年9月末時点）。

